
椿 -tsubaki-

水峨 梢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

椿 - t s u b a k i -

【コード】

N5964M

【作者名】

水 峨 梢

【あらすじ】

「 椿 。
「

すべてはこの一言で始まった。

この世界が完成するとき…少女の運命が変わる。

01:全ての始まり

椿 - t s u b a k i - 01:全

ての始まり

「椿。」

何も無い真っ白な世界で名を呼ばれていた。それが自分の名だと認知するまでに数秒ほどの時間がかかった。低く純粹な濁りのない透き通った声 全てがこの一言で始まったのである。

「わたしはだれなの？」

その声の主に返答する。 自分が誰だか知らない。 どんな姿なのかも知らない。

「お前はこの世界を支配できる。目が覚めたら一ヶ月の間がある。いずれ覚醒する日がくるだろう。お前の名は……………」

この世界を支配……………???
言葉の意味を理解できずにいた自分は頭の中も真っ白なことに気づく。

「椿 光離「ツバキ ヒカリ」。 ナンバー000 「

ツバキ ヒカリ。

声の主が私の名前を口に出した途端、その言葉が脳内で何度も響く。
自分のナマエ。 やっと分かった。

「私は椿光離。」

「

01:全ての始まり(後書き)

初めまして!! 初心者で中一の小説なので読みづらと思います
がこれから頑張って小説を書いていこうと思つので宜しく願ひし
ます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5964m/>

椿 -tsubaki-

2010年12月31日06時40分発行